

提案 2	<h2 style="margin: 0;">狭山駅前を若い力で活性化！</h2> <h3 style="margin: 0;">～ 学生と市民が協働してにぎわいの駅前に ～</h3>
------	--

計画目標	狭山駅前が各種店舗の並ぶ活気あふれた街並みになっている。 若い世代の居住が進み、高齢化率も低下している。 いろいろな試みで、一時的な賑わいとならないような事業展開が行なわれている。
------	--

概況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 狭山駅は無人駅で駅前には店舗も少ない。 ・ 車両は通過車両のみ。 ・ スーパーなどの生活必需品購入店舗がない。 ・ その他の業種の店舗も入れ替わりが激しい。
----	---

時点	節目目標 (マイルストーン)	取り組み	備考
1年後	「狭山駅前にぎわい運営委員会」が立ち上がっている。	自分たち	・ 運営委員候補の方への声掛けを行う。
		地域	・ 運営委員候補者を選出する。
		行政	・ 地域への協力要請をする。 ・ 場所の提供。 ・ 大学との連携依頼。
		学生	・ 地域住民とのディスカッションを行う。 ・ にぎわいを生み出す手法を創造する。
3年後	駅前地区の整備が始まっている。	自分たち	・ 学生と一緒ににぎわいを生み出す方法を考える
		地域	・ 整備計画によって権利関係がある場合は協力を依頼する。
		行政	・ 整備計画のタイムテーブルを作成する。 ・ 地域への説明、関係省庁との連携。
		学生	・ 地域住民とのディスカッションを行う。 ・ にぎわいを生み出す手法を創造する。
5年後	駅前が活性化し、毎日何か催され、人であふれている。	自分たち	・ にぎわいが一過性にならないように継続性を持たせる活動を行う。
		地域	・ 新しく居住した住民を巻き込み、事業の継続性を確保する。
		行政	・ 住民と協働し、催しがスムーズに開催されるようにサポートする。